

教えて先生 Q&A

来年4月から小学校の教員
になります。大学の講義では

アクティブラーニングが頻繁
に取り入れられ、さまざまな

意見が得られるメリットを
感じています。しかし、自分
が授業をする立場では具体的
にどのようなことを行えばい
いか不安です。教育実習で経
験した道徳の授業では、子ど
もたちの考えを引き出す難し
さを特に感じました。

（関西国際大学4年 植木 遥香）

道徳科として考えると
アクティブラーニングと
は「ねらいとする道徳的
価値について、自分ごと
として考え、話し合う中
で、内面的資質を高める
授業」といえるでしょう。
そのためには、質問にも
あるように、子どもたち
の考えを引き出す必要が
あります。

具体的に考えていきま
しょう。

まず導入です。子ども
たちに教室に入ってくる
ときのあいさつをさせま
す。大きな声の子、照れ
ながら入ってくる子、さ
まざまです（＝礼儀）。
親切にされたときの気
持ちについて書かせたア
ンケートの結果を提示し
ます（＝親切）。調子に乗
ってお菓子を食べ過ぎ、
つらい思いをする人形を
使った寸劇を見せます
（＝節度節制）。

次に展開です。その教
材を使って何を考えさせ
るのかという指導観を持
って考えさせます。話し
合いにも、ペア・グルー
プ・全体などさまざまな
形態があります。全体の
話し合いでも、自由起立
発言、相互指名発言など
があります。動作化や役
割演技が有効であると考
えた場合には、それらを

活用することで、子ども
たちは自分なりの言葉で
思いを語ります。
ここで大切になるのが
発問です。子どもたちの
心を揺さぶる発問を吟味
する必要があります。ね
らいに即した、多面的・
多角的な考えを引き出す
発問を考えるのです。私
の学級では、道徳の形と
して座席の配置をコの字
型にしています。

いろいろな手段につい
て述べてきましたが、手
段を目的とせず、目的
（ねらい）を達成するた
めには、どんな手段（方
法）を活用すると効果的
になるかを考える必要が
あります。さらに一般化
では、今までの自分を振
り返る際、発言を広げた
り深めたりします。そし
て終末に、教師の失敗談
を語ることも子どもたち
の心を揺さぶります。

（赤堀美喜夫・東京都
台東区立台東育英小学校
指導教諭）

教員を目指す人たちの
さまざまな疑問に第一線
の現職教員らがお答えし
ます。教職に関する疑問
をお寄せください。質問
は henshu@kyoiku-press.jp。
8.jpまで。

道徳の授業で意見を引き出す工夫はありますか